

## (イ) 資料収集事業

年度ごとの資料収集方針に沿って計画的な資料収集を進め「童謡・唱歌のふるさと鳥取」の拠点施設としての機能の強化、顕彰施設としての内容の充実を図ります。大学教授や音楽教諭等の外部の有識者からなる資料収集委員会を組織し、資料収集方針の策定等に外部の専門家の視点を取り入れます。

資料収集の基本方針としては、郷土の音楽家にまつわる資料を積極的に収集するとともに、現代の子どものうたである小中学校の音楽教科書を重点的に収集します。

童謡・唱歌に特化した常設展示を持つ国内唯一の施設として、収蔵資料の充実に努め、童謡館展示のより一層の内容の充実を図ります。

開催場所	回数	事業費
古書店からの買い入れ、個人や団体等からの寄贈等	通年	1,009 千円

## ウ 展示事業

「童謡・唱歌のふるさと鳥取」の拠点施設として、鳥取県ゆかりの音楽家の業績を顕彰し、童謡・唱歌に対する興味関心を広く一般に喚起するため、常設展示に加えテーマを定めた企画展を開催します。

### (ア) 企画展

作品の発表年や音楽家の生没年等、その年々に節目を迎える作品や音楽家を題材に、専門員が定めたテーマに沿って年3回の企画展を開催します。収集した資料の中で、調査研究の成果が発表できるものについては、企画展の中で取り上げます。また企画展の関連イベントとして、テーマに合わせたミニコンサート等を実施し、多くの方に企画展を見に来ていただけるよう工夫します。



当年度企画展の予定 海沼實（没後50年）展、コドモノクニ創刊100年展ほか

開催場所	回数	事業費
うたの広場	3回	—

※事業費については、調査研究事業と共用とします。

## 工 基金事業

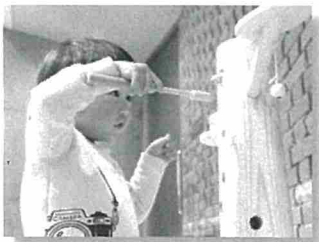
童謡館基金を活用した基金事業として、童謡・唱歌の魅力伝える鳥取ゆかりの音楽映像作品を制作し、YouTube上のわらべ館チャンネルで配信します。出演は童謡唱歌推進員等、県内のアーティストに依頼します。曲目は鳥取出身の音楽家の作品のほか、ふるさと音楽賞の入賞作品を予定しています。

また、童謡・唱歌体験事業である「童謡コンサート（P14 記載）」の財源の一部としても、童謡館基金を活用します。

事業内容	開催時期等	事業費
わらべ館 YouTube チャンネル	年間	1,500 千円
童謡コンサート	P14 記載のと おり	1,000 千円

### (6) おもちゃをテーマとした文化事業に関する考え方

包括的なおもちゃ文化の体験の場を広く一般に提供し「おもちゃをテーマとした特色ある地域文化の振興に資する」ため、次に掲げる事業を行います。



なお、多くの方に参加していただくため、館内で開催するイベント等の催しものは原則として入館料のみで参加できるものとします。受益者負担の観点から、材料代等の参加費を徴収する場合には営利を目的とせず、必要最小限の料金に設定します。

## ア おもちゃ文化体験事業

「おもちゃ」をテーマとした様々な参加、体験型の事業を実施し、世代や性別を超えたおもちゃと遊びの文化体験の場を提供します。また、入館者に人気のある独楽を販売し、家庭や地域でおもちゃに親しんでいただく機会を提供します。

### (ア) おもちゃワールド

児童の夏季休暇や冬季休暇に合わせ、いべんとほーるを会場に、おもちゃで自由に遊べる「おもちゃワールド」を開催します。常設展示とはひと味違った現代のおもちゃ文化に触れる機会を提供します。家族が相互にコミュニケーションを図る遊び場として活用することで、子どもの創造性や協調性、社会性を育みます。

今年度はコロナ禍にあることから、感染動向等によっては、開催の可否も含めて時期や内容について大幅な見直し等を行う場合があります。

開催場所	回数	事業費
いべんとほーる	夏休み及び冬休み期間の2回（いずれも半月程度）	1,670 千円

### (イ) おもちゃづくり体験



工作スタッフの指導を受けながら、保育園児程度から木工が楽しめるおもちゃづくり体験を2階のおもちゃ工房で提供します（参加にはわらべ館オリジナル工作キットの購入が必要です）。通常編として第一土曜日を除く毎土日と月曜祝日に開催するほか、長期編としてGWや夏休み期間など年間150日程度開催します。グループ利用には臨時開催も受け入れ、おもちゃづくりを通したものづくりの楽しさや、工具の使い方、おもちゃの仕組みやその工夫を伝えます。

- ・キットの種類：16種類（9ピースジグソー290円ほか）
- ・通常編：土曜日曜（第一土曜除く）月曜祝日      長期編：春編・GW編・夏編・冬編



- ・通常編と長期編の工作指導スタッフとしてアルバイトを雇用します。臨時編は職員が対応。

開催場所	回数	事業費
おもちゃ工房	通常編、長期編として 年間 150 日程度。	3,249 千円

### (ウ) おもちゃの病院&銀行

利用者の持ち込む壊れたおもちゃを、ボランティアのおもちゃドクターが修理する「おもちゃの病院」を毎月定期的で開催します。おもちゃ修理を通して、物を大切にする心やおもちゃの仕組みに対する興味関心を喚起します。修理は原則無料で行いますが、必要に応じて部品代等の実費を徴収することがあります。

当年度より新たにドクターによるトークショー（故障を防ぐおもちゃの遊び方を紹介）等を行い、本事業の拡充に努めます。

また「おもちゃの銀行」として、家庭で不要になったおもちゃを引き取り、メンテナンスを施して希望する子どもたちにプレゼントするイベント（クリーニングワークショップ等）を少なくとも年 1 回開催します。おもちゃのリサイクルを通して、物を大切にする心を涵養します。



開催場所	回数	事業費
いべんとほーる、エントランス おもちゃ工房	12 回（病院） 1 回以上（銀行）	351 千円

### (エ) おもちゃ文化普及事業

土日を中心におもちゃと遊びをテーマとした参加体験型のイベントを開催し、おもちゃの魅力伝えてわらべ館への来館を促すとともに、おもちゃ文化の普及に努めます。

また、つくつく工房と題して、地元のものづくり作家等を講師に招き、木工以外的工作体験も年 8 回程度開催します。

今年度は、コロナ禍にあることから、事前にイベントの内容や出演者の諸々の状況等について安全性の観点から十分検討した上で、これまで以上に安心して楽しめるイベントに

厳選して計画します。また、鳥取市とドイツハーナウ市との姉妹都市提携 20 周年にあたる記念の年でもあることから、それにちなんだ事業等を予定しています。

開催場所	回数	事業費
いべんとほーる、エントランス ホール、おもちゃ工房等	土日、祝日を中心に 通年で開催 つくつく工房は年 8 回程度	1,379 千円

※事業費のうち 1,000 千円は鳥取世界おもちゃ館基金を財源とします。

## イ 調査研究、資料収集事業

平成元年に開催された「'89 鳥取・世界おもちゃ博覧会」の顕彰施設として、世界各地のおもちゃ資料を収集、保管するとともに、おもちゃ専門員による調査研究を行います。

### (ア) 調査研究事業

おもちゃの収集資料や遊びに関する調査、研究を進め、その成果を展示やレファレンス等に反映します。ホームページ等で継続的に情報を発信することで、おもちゃをテーマとする拠点施設としての充実を図ります。また、教育機関や一般の研究者、類似施設等との連携を深め、調査研究活動に活かします。

専門家や研究者による講演や実演、ワークショップを行う「遊ゆう学舎」を開催し、遊びと学びのより深い理解を得る機会とします（キット代等徴収する場合あり）。わらべ館のエントランスホールを「エントランスギャラリー」として一般に開放し、おもちゃに関連するものづくりやコレクションの展示、情報交流の場として提供します。また、おもちゃ資料の紹介や遊びの提案などを Web 上に掲載します。



開催場所	回数	事業費
「遊ゆう学舎」：いべんとほーる 「エントランスギャラリー」：エント ランスホール	1 回 3 回程度	717 千円

### (イ) おもちゃ資料収集事業

国内外のあらゆるおもちゃ資料の収集に努め、おもちゃの拠点施設としての展示内容をさらに充実させます。わらべ館の収集品で日本のおもちゃの歴史の変遷が説明可能となるよう、特に古い日本のおもちゃや、最新技術を搭載したおもちゃ、館の収集方針に則った資料の収集に力をいれるとともに、収蔵庫の温湿度管理を徹底し、最適な保存環境に努めます。資料収集委員会における助言、指導を参考に資料収集方針に則った玩具資料を購入するとともに、寄贈の呼びかけも行います。収集した資料は適正な管理のもと、常設展や企画展等の展示・参考資料として調査・研究に活用します。

開催場所	回数	事業費
玩具店・古物商・古書店等より 購入、個人や団体等からの寄贈	通年	974 千円

### ウ 展示事業

「'89 鳥取・世界おもちゃ博覧会」の顕彰施設として、おもちゃに対する興味関心を広く一般に喚起するため、常設展示に加えテーマを定めた企画展を開催します。

#### (ア) おもちゃと遊びの企画展

収集したおもちゃの中で、調査、研究が終わり、その成果が発表可能となった資料や、遊びに関する資料を中心に企画展を開催します。また、外部から資料を借りて特別展を開催することで、おもちゃの歴史や資料的価値を周知するとともに、報告書の発行により、展示資料に関する情報発信も行います。



#### 企画展のテーマ

「はかってあそぼう」

「水木しげるのキャラクター玩具（生誕 100 周年記念）」等



開催場所	回数	事業費
ギャラリー童夢、エントランスホール	5回	—

※事業費については、調査研究事業と共用とします。

## エ 基金事業

おもちゃ文化体験事業である「おもちゃ文化普及事業」の財源の一部として、鳥取世界おもちゃ館基金を活用します。

令和3年度は、鳥取市がドイツハーナウ市との姉妹都市提携を結んで20周年にあたることから、それにちなんだ記念の事業を予定しています。

開催場所	開催時期	事業費
おもちゃ文化普及事業	P19 記載のとおり	1,000 千円

### (7) 鳥取県立童謡館と鳥取市立鳥取世界おもちゃ館の共同で実施する事業に関する考え方

童謡館と鳥取世界おもちゃ館を一元的に管理するメリットを活かし「わらべ館」として、両館の魅力を伝える入館促進事業並びに広報事業を行います。童謡・唱歌とおもちゃの相乗効果による利用促進を図り、館内利用を通じた幅広い層への童謡・唱歌とおもちゃ文化の一体的な普及を目指します。

本事業は、入館料収益等の文化事業収益を館の利用促進のため事業費として再投資する計画でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う収益の落ち込みにより、当年度は指定管理委託料を財源に実施することといたします。

## ア 入館促進事業

自転車の荷台に載せた昔ながらの紙芝居や親子で楽しめる舞台や映画の上映、鉄道模型の展示等、世代を問わず楽しめるわらべ館ならではの魅力溢れるイベントをコロナ禍の動向に留意しつつ開催し、わらべ館への誘客を図ります。プロの出演者だけでなく地元のパフォーマー、ボードゲームや工作ワークショップなどを織り交ぜながら、季節の行事や催しに合わせたタイムリーな参加型イベントを開催します。



また、紙芝居やわらべうたあそび等の登録ボランティアによる少人数対象のミニイベントを毎週開催し、日々気軽にわらべ館に足を運んでもらえるよう工夫します。

開催場所	回数	事業費
いべんとほーる、エントランスホール等	通年	2,088 千円

## イ 広報事業

新型コロナウイルスの収束が見通せず、県内県外を問わず団体旅行の受け入れが見込めないことから、当年度は特に県内及び近県ファミリー層に重点を置いた広報に取り組みます。2ヶ月に1回発行するイベントカレンダーにより、県東部の園児や小学生、友の会会員に向けタイムリーなイベント情報の告知を行うほか、GWや夏休み前には全県下の園児と小学生にも配布範囲を拡大します。鳥取市内に向けては、戸別配布されるタウン誌等も活用しながらニーズの掘り起こしに努めます。

県外客に向けては、主に鳥取砂丘を訪れる個人客をターゲットに、周辺の観光スポットや道の駅等に入館割引券の設置を行い、利用促進と誘客を図ります。また、県中西部や但馬地方等わらべ館の知名度が十分でない場所に向けても、気軽に行けるスポットとして認知向上に努めます。GWや夏休みに利用の増える関西圏のファミリー層に向けては「るるぶ」「まっぷる」等の旅行情報誌や旅行サイト等に広告を出稿し、親子で遊べる旅行先として館の認知度アップを図ります。

SNSを活用した広報に関しては、従来のInstagram、わらべ館 You Tube チャンネルに加え、試験的にLINE公式アカウントを作成し、利用者からの反応をリサーチします。

当年度はコロナ禍により、広報事業の原資としてきた入館料収入等の減少が見込まれます。中でも広告宣伝費への影響は小さくありませんが、広告媒体の取捨選択を進め、最小の費用で最大の効果が上げられるよう取り組みます。



利用者からの要望の多いわらべ館オリジナルグッズに関しては、従来のわらべ館手ぬぐい（税込 800 円）に加え、収蔵資料の紹介を兼ねたオリジナルクリアファイル（税込 200 円）の販売に向け、準備を進めています。なお、販売により生じた利益は、いずれも本事業の事業費に充当する計画です。

対象	回数	事業費
県内外のファミリー層とシニア世代の団体客	通年	4,234 千円

#### (8) サービスの向上策と利用促進に向けた取組

- (ア) 全職員を対象に毎年接客研修を行なうとともに、毎日朝礼で出勤者全員による「出会いの挨拶」を実施し、入館者を「おもてなし」の気持ちと笑顔でお迎えます。「顧客満足」の観点に立って「来て楽しい、また行ってみたい」と思っただけけるように、改善すべき点を話し合い常にサービス向上に努めます。また、入館者と最初に相対する受付職員の対応は特に大切であり、専門的な研修を行います。
- (イ) 団体客の入館時に、コロナ禍の動向に留意しつつ受付職員が館内案内ボード前で館内の紹介を行い、見学や活動に役立てていただきます。定期的に館内外を巡回し、施設の状態を点検するとともに入館者の安全を確保し、不備な点は速やかに改善することにより、館内外を常に良好な状態に保ち、入館者に快適に過ごしていただきます。利用者サービスの一つとして、わらべ館と屋外駐車場との間に貸し傘を設置し、雨天時の利便性を高めます。
- (ウ) 入館料等の支払方法としてキャッシュレスによる対応を今後も継続するとともに、おもちゃづくり体験のキット購入用として工房入口に自動販売機をリース設置し利便性向上に努めます。
- (エ) 自然災害などが発生した際に、適切かつ速やかに入館者の安全の確保や避難誘導ができるように、日ごろから防災意識を高めるとともに、地域と連携した効果的な防災訓練を実施します。
- (オ) イベントカレンダー等の定期的な発行やホームページや SNS の充実、観光情報誌やフリーペーパー等の活用、チラシ・ポスターの配布、懸垂幕、立看板等により、きめ細かい情報提供を行うことで利用促進を図ります。
- (カ) 多目的ホールの利用料金、収容人員等の施設案内を広報し、利用促進を図ります。
- (キ) 外に開かれた施設として、館内ボランティア制度に基づき、紙芝居実演のほか、わらべうた遊び実演、イベントのサポート、おもちゃ修理等の様々な分野でボランティアを活用し、継続して活動していただきます。

(ク) 文化観光施設として、コロナ禍の動向に留意しつつ県内及び近県の旅行会社、バス会社、旅館、ホテル等を訪問して営業活動を行い団体客の誘致を図ります。また、小学校や幼稚園、保育所、公民館等にわらべ館のイベント等の情報提供を行い利用促進に努めます。

(ケ) 県内の類似施設や近隣の文化施設・観光施設と連携して利用促進に努めるとともに、入館者へのサービスとして県内の観光情報やイベント情報を提供します。特に、鳥取砂丘こども国と連携して、互いに年間パスポート券利用者の割引制度を活用して継続して誘客に努めます。また、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館による、相互のチケット・年間パスポート券等で特典が受けられる制度を活用して誘客に努めます。

#### 4 利用者数及び利用料金の収入見込み

##### (1) 利用者数

##### (ア) 入館者数

年間の入館者数については、例年 12 万人を目標としていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を避けられないことから、利用者の安全を確保しながら例年の 6 割、72,000 人の入館者数を目指します。

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7,300	5,600	4,400	7,000	11,800	6,500	6,000	5,800	4,800	4,200	4,200	4,400	72,000

##### (イ) 県立童謡館多目的ホール（愛称：わらべ館いべんとほーる）

新型コロナウイルスの感染拡大による主催事業の減少、外部利用の低迷により、引き続き厳しい状況が予想されます。利用者に少しでも安心して利用してもらえるよう、検温機器や透明スクリーンを無料で貸し出します。

利用可能日は休館日を除く年間 350 日とします。館の主催事業で利用するほか、予定のない日は外部利用の促進に努めます。例年の半分である利用日数 105 日、稼働率 30%を目標とします。

##### (2) 利用料金の収入見込み

以下のとおり設定します。

##### (ア) 入館料収入

8,761 千円（昨年度当初予算 15,228 千円）※令和元年度実績額の 60%

##### (イ) 多目的ホール利用料収入

518 千円（同 2,118 千円）

(ウ) わらべ館友の会会費収入

736千円(同1,794千円)

(エ) 文化事業収入(コンサートチケット売上等)

74千円(同231千円)

(オ) 事業館内販売売上収入(おもちゃづくり体験キット売上等)

864千円(同2,055千円)

## 5 委託業務に係る収支計画

別紙のとおりです。

## 6 再委託、工事請負の発注予定

(1) 再委託の発注予定とその考え方

(ア) 施設の維持管理に係る業務で清掃、機器の保守点検、警備等の専門的な知識や技術を要するものについては外部委託を行い、効率的な運営を行います。

外部に委託する業務内容
清掃業務及び建築物環境衛生管理業務
空調及び衛生設備保守点検業務
消防用設備保守点検業務
エレベーター保守点検業務
自動扉保守点検業務
自家用電気工作物保安業務
庭園管理業務
館内機械警備業務
不可燃物・産業廃棄物処理委託業務
館内の展示装置保守点検業務
建築基準法に基づく点検業務
からくり時計保守点検業務
雨水管・污水管洗浄業務
冷却水系ブラッシング作業業務
収蔵庫燻蒸業務
滝清掃業務
展示ケース清掃業務



館内清掃保守点検業務
自動販売機設置業務（鳥取市専有部分）
その他施設の維持管理に必要な業務

(イ) 童謡・唱歌及びおもちゃに関する文化事業の実施に際して、内容の充実を図るため、プロの出演者やプロモーター等に公演等の業務を委託することがあります。

(ウ) 業務に必要な知識の獲得や技能の向上のため、必要に応じて外部講師に職員の研修を委託します。

(エ) その他館長の判断により、館の運営に際して専門的知識・技能を要する業務を外部に委託することがあります。

(2) 工事請負の発注予定

工事請負の発注予定はありません。

(3) 委託先選定の考え方

委託先の選定方法は、財団規程により定めるとともに、原則として特殊な技術知識を要するものや少額のものを除き、指名競争入札、複数年契約により行い、経費の節減に努めます。

令和3年度委託業務に関する収支計画書（資金ベース）

(単位:千円)

区 分		内 訳	当初計画	
収 入 項 目	県委託料収入	童謡館指定管理委託料	77,332	
	県委託料収入	キャッシュレス決済整備事業	0	
	市委託料収入	鳥取世界おもちゃ館指定管理委託料	76,332	
	利用料金収入	入館料 8,761、ホール利用料 518、友の会収入 736	10,015	
	事業収入	童謡事業 50、おもちゃ事業 14、共同事業 10	74	
	館内販売売上収入	童謡事業 10、おもちゃ事業（工房キット他）750、共同 104	864	
	基本財産運用収入	鳥取県債利息	144	
	雑収入	自販機販売手数料収入 400、預金利息ほか 6	406	
	基金取崩収入	童謡館基金取崩 2,500、おもちゃ館基金取崩 1,000	3,500	
収入合計 (A)			168,667	
支 出 項 目	人件費(常勤職員)	館長、常勤職員分（非常勤役員等の報酬240は財団管理費で計上）	63,074	
	人件費(非常勤職員)	受付職員分	11,673	
	管理運営費		66,600	
	旅 費	費用弁償 20、研修講師旅費 80	100	
	通信運搬費	電話料金、郵券等	540	
	消耗品費	事務用品・施設管理消耗品 720、照明電球 450、展示プロジェクターランプ 360、新聞書籍 270、用紙類 360	2,160	
	印刷製本費	コピー代 292、封筒印刷他 247、パンフレット入館券 541	720	
	燃料費	館用車燃料代 90、自家発電機軽油代 10	100	
	光熱水費	電気 11,460、上水道 730、下水道 374、ガス 4,684	17,248	
	賃借料	著作権使用料 841、事務機器等リース料 1,521、アプリケーション利用料 170	2,532	
	保険料	入館者賠償責任保険 100、出演者等傷害保険 80、自動車保険他 170	314	
	諸謝金	職員研修講師謝金	30	
	公課費	消費税・印紙等 6,200	6,200	
	委託費	館内清掃建築物環境衛生業務 18,810、空調衛生設備保守 3,960、消防設備保守 1,485、エレベーター・自動ドア保守 1,869、展示装置等保守 4,258、その他施設設備保守警備等委託料 2,224	32,606	
	支払手数料	エージェント手数料、送金手数料等	700	
	修繕費	施設設備等修繕費	3,000	
	その他経費	観光エージェント契約更改負担金、消耗什器備品費等	350	
	文化事業費			24,798
	童謡・唱歌に関する事業	別紙内訳のとおり	10,136	
	おもちゃに関する事業	別紙内訳のとおり	8,340	
童謡館とおもちゃ館の共同事業	別紙内訳のとおり	6,322		
財団管理費	理事会費 290（うち非常勤役員等報酬240）、事務局費 2,232	2,522		
支出合計 (B)			168,667	

令和3年度事業費内訳書（財源区分付き）

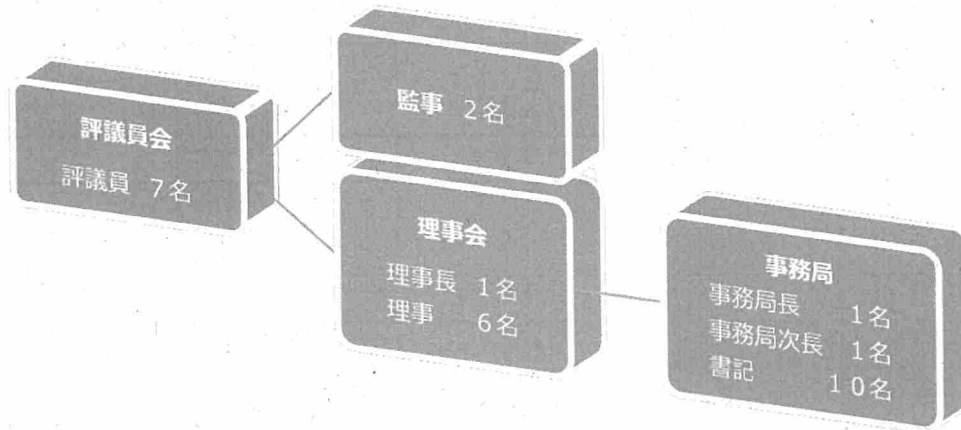
（単位：千円）

事業名	当初金額	（財源区分）			
		県	市	財団	基金
受託施設管理事業	63,600	31,800	31,800		
童謡館修繕費	1,500	1,500			
おもちゃ館修繕費	1,500		1,500		
小計	66,600	33,300	33,300	0	0
童謡・唱歌に関する事業					
唱歌教室	798	788		10	
童謡コンサート	1,110	110			1,000
童謡・唱歌普及事業	4,031	3,981		50	
童謡・唱歌調査研究	1,688	1,688			
童謡・唱歌資料収集	1,009	1,009			
【基金】童謡・唱歌You Tube配信事業	1,500				1,500
小計	10,136	7,576	0	60	2,500
おもちゃに関する事業					
おもちゃワールド	1,670		1,670		
おもちゃづくり体験	3,249		2,549	700	
おもちゃの病院&銀行	351		350	1	
おもちゃ文化普及	1,379		319	60	1,000
おもちゃ調査研究	717		714	3	
おもちゃ資料収集	974		974		
小計	8,340	0	6,576	764	1,000
童謡館とおもちゃ館の共同事業					
入館促進事業	2,088	173	173	1,742	
広報事業	4,234	2,065	2,065	104	
小計	6,322	2,238	2,238	1,846	0
人件費	74,747	34,218	34,218	6,311	
法人管理費	2,522			2,522	
合計	168,667	77,332	76,332	11,503	3,500

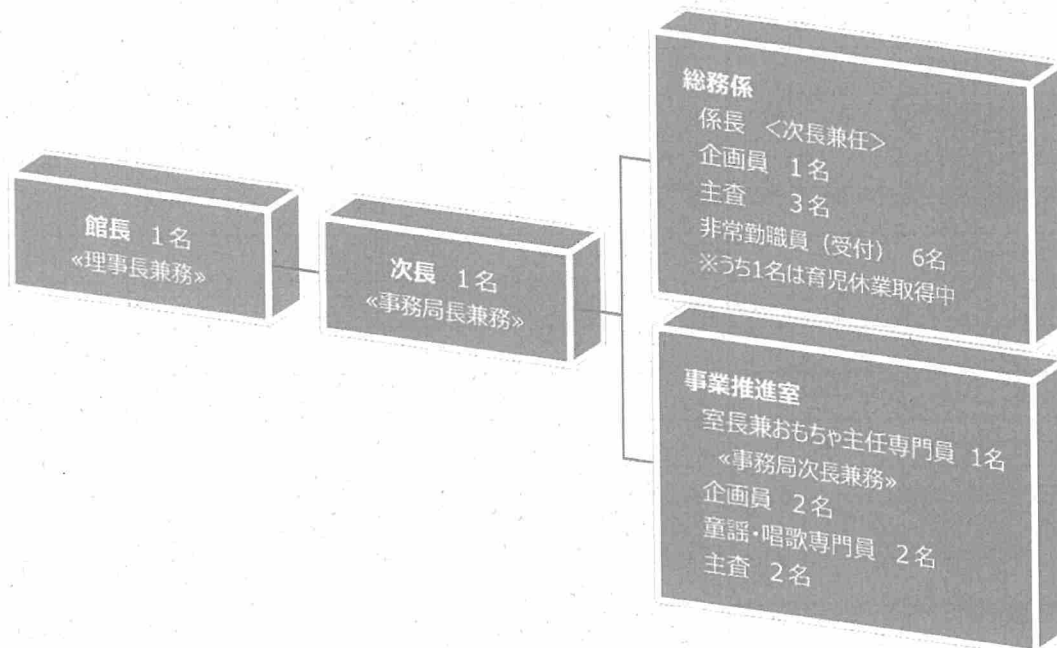


令和3年4月1日時点

### 財団組織図



### わらべ館体制図



館長 1名

職員 12名、非常勤職員(受付) 6名 計19名

※このうち非常勤職員(受付)の定数は5名